

## 事業報告書（令和 5 年度）

事業名 おいしく楽しくエコ生活！

団体名 おかやまエコマインドネットワーク 担当者名 藤原 幸藏

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

#### 活動内容

##### 1 広報活動（イベントの告知を実施）

当団体の自主企画の映画会などで広報

- 1) 8/7 倉敷環境学習センター 「希望の給食」 上映+先進地視察報告（大塚愛）  
参加者 30 名
- 2) 9/3 県立図書館 「君の根は。大地再生にいどむ人びと」 上映  
+講演会「ひなたファーム日向建太」 参加者 80 名
- 3) 9/17 備前市市民センター 「希望の給食」 上映+先進地視察報告（大塚愛）  
参加者 45 名

##### 2 当事業内容

日時 令和 5 年 12 月 16 日 13:30~16:00

場所 岡山市灘崎公民館 川張分館

参加者 一般地域住民 16 人

講師 2 人

おかやまエコマインドネットワーク会員 7 人

参加者計 25 人

- 1) 農業生産法人ワッカファーム代表・佐々木竜也氏の講演

「野菜本来の生命力を生かす！持続可能な農業」

業生産法人ワッカファーム生産野菜の試食

- 2) 岡山フェアトレードの会 事務局長・野本恭子氏の講演

「フェアトレードについて」

- 3) 意見交換・交流およびアンケート等記入

意見交換・交流を実施

何名か残ってまで、アンケート記入されていた。深い学びの良い評価と考えた。

### 2. ESD の視点

#### ① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

ワッカファーム佐々木氏が実践する農業は在来種を使った有機無農薬栽培で、**持続可能**となっている。また、実際に栽培されている在来種の野菜をサンプルとし、参加者の記憶をよみがえさせることができたと確信している。

フェアトレードの会野本氏の講演は、フェアトレード入門的な話であったが、実際に店頭で扱われているサンプルの説明のある実践的な話であった。参加者は実際にどこで購入できるかを詳しく、訊ねる参加者もいた、理解が深まったと考える。

#### ② どのように学び合いを取り入れたか

・ワッカファームで実際に栽培している野菜をサンプルとして、展示した。

当然、参加者は集まり、自然とその野菜・栽培環境等に関する話で盛り上がった。

上記、野菜の試食を実施による味の再現

・フェアトレード、実際の製品を、サンプルを用いて紹介をした。

③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

講演をした人の農園「ワッカファーム」で実際に栽培している野菜のサンプル展示とその野菜の試食、(調理はシンプル)目と舌で、講演内容の理解が深めることが、できた。

・フェアトレード、実際の製品、サンプルの紹介をした。

フェアトレードの製品紹介だけのつもりであったが、実際にどこで購入できるのかとか、サンプルを分けて欲しいなど、予想した以上にフェアトレードへの興味・実践に対する高まりを感じた。

3. 取組の成果 (事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。)

目的・目標として、「過剰な消費を抑え、安心できる食生活、地産地消の食を目指すこと」を主として実施したが、その、達成状況はアンケートの内容より、確認できた。

特に「地球」という、キーワードが見られとことおよび。「どんなものを購入するか、食べるのか考えられる人になりたい。」という文言は目的・目標の達成及び私たちの思いが、通じたと感じられた。

参加者アンケートの結果の一部を下記に示す。

・自然農法の稲田んぼに年に何回かお手伝いに寄せてもらっています。草も虫もたくさんで幸せを感じます。不耕起で土もふわふわです。七区に住んでいますが細かい用水路までコンクリートになってきていて悲しいです。水の(生命の循環)ができず、息ができないかというか・・・つらいです山、畑、川 化学肥料、農薬 使わないで、続く岡山、日本、世界、地球でいて欲しいです。

・商品など考えてチョコレートなど買いたいです

・WACCAFARM 佐々木さんの講義は素晴らしい。無農薬無肥料の理由 20 年 農業をしてわかったことを教えていただき 本来の農業の仕方がどうあるべきか、考えさせられた。一人一人の力で これからの意識を変えていくべきだと・・・

・とってもいいお話を聞かせていただき、ありがとうございました。うちの柿や さくらんぼの木は肥料もやらないのに毎年 たくさん 実をつけるのはどうして かな? と思った時、落ち葉で腐葉土ができ、その栄養で育っているのでは? と思い、最近、土作りに興味を持っていました。持続可能な農業のテーマを見た時、是非聞きたいと思いました。無肥料栽培の話が とても良かったです。

・持続可能な農業や フェアトレードについて学べて良かったし、考えさせられました。どんなものを購入するか、食べるのか考えられる人になりたい。佐々木さんの”一人一人の力は無限” という言葉が印象に残りました。まずは自分のことからやっていきたいです。

・無農薬 無肥料 農業を少しは取り組んでみたいと思います

・今までも 食生活には気をつけていますが、今日のお話を聞いて、ますます、体に良い野菜を 価格にとらわれず、良い野菜を食べて残りの少ない人生、食生活を豊かに過ごしていきたいと思います。

・畑で野菜を作っているが、肥料のことなど あまり気にしていなかったがただ、勉強に

なりました。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域のESDの取組と持続可能な社会の発展・継続につながるか）

参加者が地元で環境クラブでの活動している人がほとんどだったので、理解・共感は得られたと感じた。また、実際に家庭菜園以上のレベルで実施しているがほとんどで、無農薬等に関する興味を持ち改善にまで取り組もうとすることが、質問等からよくわかった。

フェアトレードに関して、基本的なことは理解されているみたいで、実際に店頭で購入できる商品および購入できる店舗に関する質問が多々あり、実際購入する、動きへとつながり、効果的に背中が押せたと感じた。

以上のことを踏まえ、今後に関しては、環境対策において、本当に重要かつ有効なのは、上流工程とはわかってはいるが、実際できるのは、消費者が主体となる下流工程となります。今後も地道に啓蒙活動を続け、逆流が生まれるようにしていきたい。

会場の写真 1



会場の写真 2



会場の写真 佐々木竜也氏の講演

